

文芸書ご担当者様

注文書 (直取引用)

「著者プロフィール」
わかしよ文庫 (わかしよぶんこ)
作家。1991年北海道生まれ。

人はなぜ小説を書くのだろう。
なぜ小説を読むのだろう。
決して同じ場所に
たどり着くことはできないのに。
平和島のブローティガン
わかしよ文庫による『小説を読む物語』
笙野頼子『タイムスリップ・コンビナート』を読みなが
ら海芝浦へ向かい、後藤明生『挟み撃ち』の足跡をたどり、
巨大スーパーCOSTCOの喧騒の中で大江健三郎『万
延元年のフットボール』を読むとする。著者は一見ふ
ざけているようだ。しかし、実際彼女は不安に襲われな
がら読み訪ね、そして書く。本書はとても切実で危なっ
かしい『小説を読む物語』だ。うろんな物語を読み終え
た時、読者もまたこの社会での生き方を模索しはじめて
いるだろう。日常の生きづらさが綴られた自主制
作エッセイ集『ランバダ』の著者がその硬質で端
正な文体を余すことなく発揮した好評WEB連載
を書籍化した商業出版第1作。

装幀：コバヤシタケシ 校正：サワラギ校正部
装画：高田綾菜 印刷製本：藤原印刷株式会社

◎出版社直取引条件：買切のみ、正味 65%、送料当方負担、1冊～注
文可、月末締め翌月末払い、振込手数料書店様負担 (HABとの取引条件：
買切 70%、委託 80%、その他条件は HAB の web 等をご覧ください)

◎直取引／HAB との取引では『うろん紀行』特典しおり (全9種、ラン
ダムに投げ込み) をお付けし
ます。

◎著者サイン本、POP 等もご用
意します。取り上げた作品を集
めたミニフェアやトークイベン
トの開催をご検討いただける書
店様ぜひご連絡ください。



[ご注文先] 代わりに読む人 FAX: 03-6704-5148

Email: contact@kawariniyomuhito.com
Web: <https://www.kawariniyomuhito.com>

新刊 わかしよ文庫 著

2021年7月下旬先行発売

うろん紀行

四六判 / 202頁 / 上製
¥2,200 円 + 税
ISBN 978-4-9910743-3-2 C0093

既刊

パリのガイドブックで東京の町を闊歩する 2 読めないガイドブック
新書判カラー / 94頁 / 並製本 / ¥1,500 円 + 税 ISBN 978-4-9910743-2-5 C0295

友田
とん 著

パリのガイドブックで東京の町を闊歩する 1 まだ歩きださない
新書判カラー / 48頁 / 並製本 / ¥700 円 + 税 ISBN 978-4-9910743-1-8 C0295

『百年の孤独』を代わりに読む

A5判 (一部カラー) / 204頁 / 並製本 / ¥1,200 円 + 税 (私家版、直取引のみ)

直取引 ・ HAB

(該当する方に○)

貴店名

ご担当:

様

通信欄

冊

冊

冊

冊

刊行のことば

二年前の春のことです。偶然、わかしょ文庫さんが自主制作されたエッセイ集『ランバダ』の冒頭を読んだ瞬間、私は数年来ないほどの強い衝撃を受けました。そこに書かれていた個人的な体験の壮絶さもさることながら、それを語る彼女の硬質で、端正な文体に圧倒されたからです。それは、まちがいなく多くの文学作品を読み、自らものにしてきたものでした。彼女の書く文章の続きを読みたい。彼女の目に映る世界を見てみたい。気付いた時には私は連載を依頼するメールを書いていたのです。こうして、わかしょ文庫さんが小説を読み、どこかの駅へ出かけ、何かを思うという『うろん紀行』がはじまりました。この二年間、私は一人の読者として毎回原稿が届くたびに楽しく、時にこみ上げる感情を噛み締めながら、読みました。そして文体が進化していくのを目の当たりにし、頼んだのは間違いではなかったと思ったのです。十二回のWeb連載に数章の書き下ろしを加えて、この度、代わりに読む人から書籍『うろん紀行』を刊行いたします。ここでは一人の人が小説を読み、考えることで自分と折り合いをつけていくという極めて普遍的な物語が提示されています。多くの人がわかしょ文庫さんの文章に触れ、取り上げた文学作品を手に取り／土地を訪ね／生き方に思いを馳せていただけたらと思っています。なお、代わりに読む人から私以外の著者の作品を刊行するはじめての本です。自身の本以上に時間をかけて大切に作り上げました。どうか永く応援していただけたら幸いです。

編集・発行人 友田とん

【本書で取り上げた作品と場所】

- ・笙野頼子『タイムスリップ・コンビナート』（海芝浦）
- ・永井荷風『墨東綺譚』（東向島）
- ・古川日出男『ベルカ、吠えないのか？』（犬吠）
- ・後藤明生『挟み撃ち』（蕨、上野、亀戸、御茶ノ水）
- ・太宰治『富嶽百景』（河口湖）
- ・高橋源一郎『さようなら、ギャングたち』（金沢文庫）
- ・宮沢賢治『銀河鉄道の夜』（馬喰町）
- ・尾崎翠『第七官界彷徨』（池上）
- ・大江健三郎『万延元年のフットボール』（産業道路）
- ・牧野信一『ゼーロン』（高輪ゲートウェイ）
- ・ポール・オースター『ムーン・パレス』、ベン・ラーナー『10:04』、スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』（ニューヨーク）
- ・猫田道子『うわさのベーコン』、J.L. ボルヘス『バベルの図書館』、夏目漱石『夢十夜』（？？？）
- ・小森健太郎『大相撲殺人事件』（両国）
- ・藤子不二雄A『まんが道』（落合南長崎）
- ・トム・ジョーンズ『ロケットファイア・レッド』（大井町）他



試し読み用 QR コード



代替りに読む人

注文书デザイン：飯村大樹